

2004年9月期決算説明資料

11月22日

NISSHINBO

実績

百万円

	2004年9期	2003年9期	前年同期比	増減率(%)	主な要因
売上高	121,905	112,018	9,887	8.8	繊維増7,153、プレ-キ増636、紙増367、化成品増1,434、不動産増4、その他増293
営業利益	4,778	4,018	760	18.9	繊維増145、プレ-キ増479、紙減 188、化成品増252、不動産増47、その他増103、全社費用増 78
経常利益	6,055	4,261	1,794	42.1	持分法投資損益増889
特別損益	703	1,712	2,415	-	投資有価証券売却益減 1,376 厚生年金基金代行返上益5,279 減損損失 2,144 連結調整勘定償却 1,944 特別退職金減2,515
税引前利益	6,758	2,549	4,209	165.1	
法人税等	2,752	1,261	1,491		
少数株主損益	(-)0	(+)16	16		
当期純利益	4,006	1,304	2,702	207.3	

[為替レート(円/ドル) 108.43 119.80]

貸借対照表比較

百万円

(資産の部)	2004年9期	2004年3期	増減	主な増減内容
棚卸資産	41,082	41,394	312	日清紡増499 CHOYA減 752
有形固定資産	99,460	103,003	3,543	取得5,194 償却 5,405, 減損 2,106
連結調整勘定	-	1,921	1,921	CHOYA株式取得に伴うのれん代償却による
投資有価証券	113,928	118,001	4,073	評価差益減 4,564 売却 1,963 取得2,126

(負債の部)	2004年9期	2004年3期	増減	主な増減内容
短期借入金	40,613	40,124	489	CHOYA増463
債務保証損失引当金	506	506	-	関係会社への債務保証の履行に備えるため
長期借入金	10,787	8,820	1,967	NAC増2,738 CHOYA減1,080
退職給付引当金	15,558	21,844	6,286	厚生年金基金代行返上減 5,278

(資本の部)	2004年9期	2004年3期	増減	主な増減内容
自己株式	5,269	5,226	43	(自己株式保有数8,877千株)

	2004年9期	2004年3期	増減	主な増減内容
有利子負債の額	54,289	56,097	1,808	日清紡従業員預金廃止減 3,263

セグメント別売上高

	2002年9期	2003年9期	2004年9期
繊維	50,533	47,124	53,683
ブレーキ	40,731	40,783	42,156
紙	14,582	15,619	15,975
化成品	17,681	17,827	19,312
不動産	2,684	2,809	2,886
その他	18,944	20,141	20,960
消去	31,715	32,285	33,067
売上高計	113,440	112,018	121,905

繊維:国内はCHOYA,ナイガイシャツ新規連結により増収

海外は各社好調

ブレーキ:国内・海外共新規受注増によりABSの減収を吸収し増収

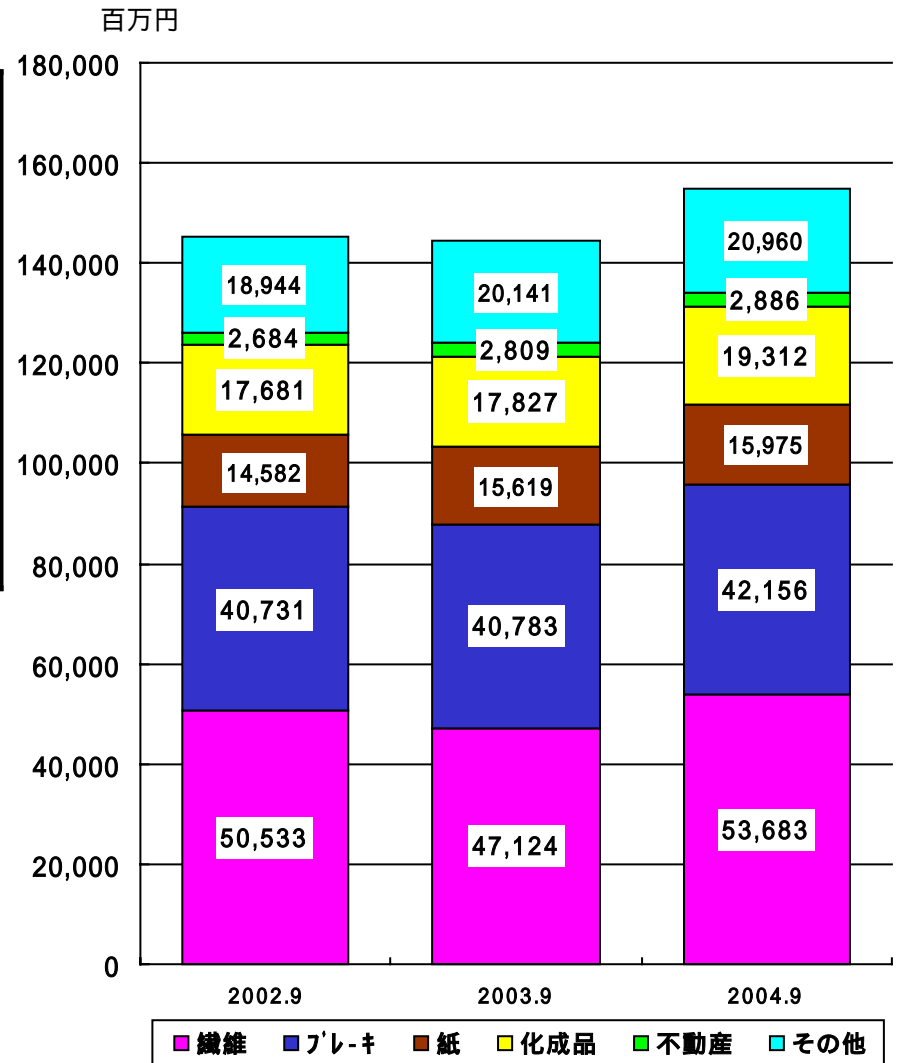
紙:新商品拡販等から増収

化成品:海外子会社好調により増収

不動産:安定収入

その他:PDP競争激化・価格下落も

ムトロ・電子機器需要増から増収



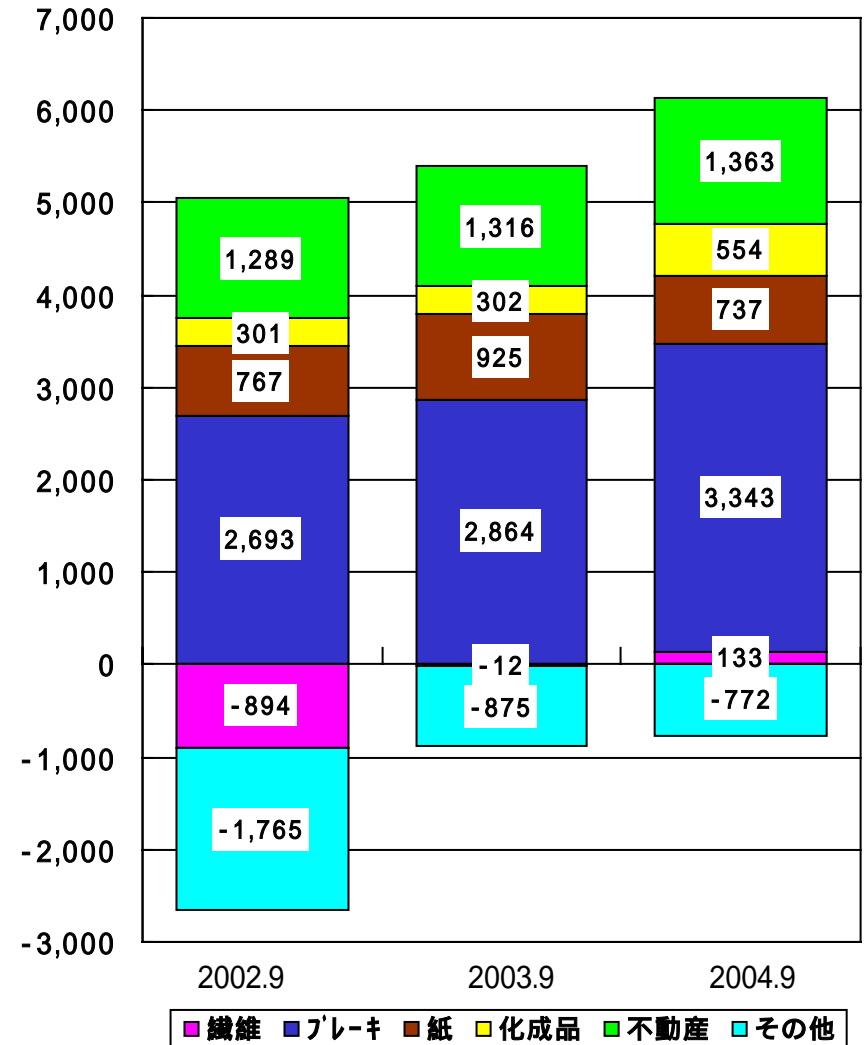
セグメント別営業利益

百万円

	2002年9期	2003年9期	2004年9期
繊維	894	12	133
ブレーキ	2,693	2,864	3,343
紙	767	925	737
化成品	301	302	554
不動産	1,289	1,316	1,363
その他	1,765	875	772
全社費用	344	502	580
営業利益計	2,047	4,018	4,778

- 繊維 : 固定費削減、海外子会社増益から増益
 ブレーキ : 国内・海外共受注増等から増益
 紙 : 原料パルプ上昇、製品市況の悪化から減益
 化成品 : 海外子会社好調から増益
 不動産 : 安定収益
 その他 : ｶｰﾄﾞ黒字化・電子機器赤字縮小・PDPフィルタ-赤字幅拡大

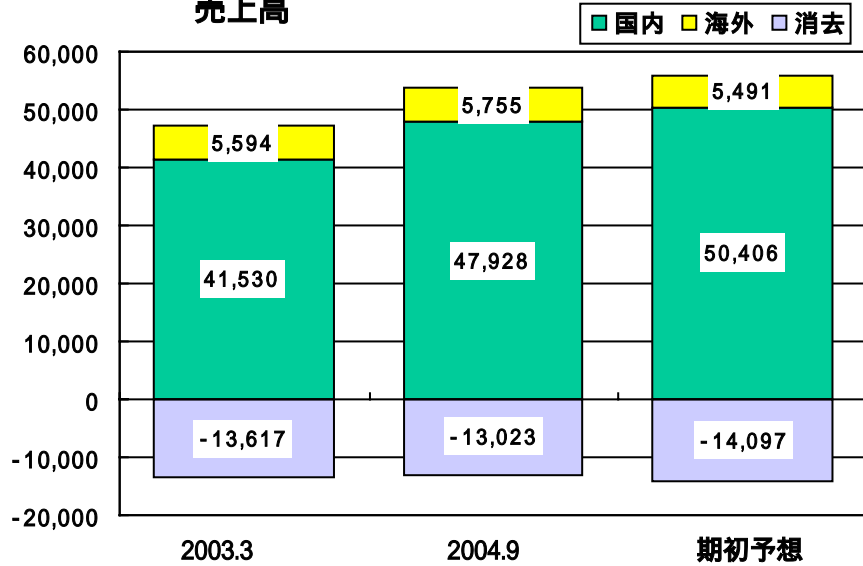
百万円



繊維事業

百万円

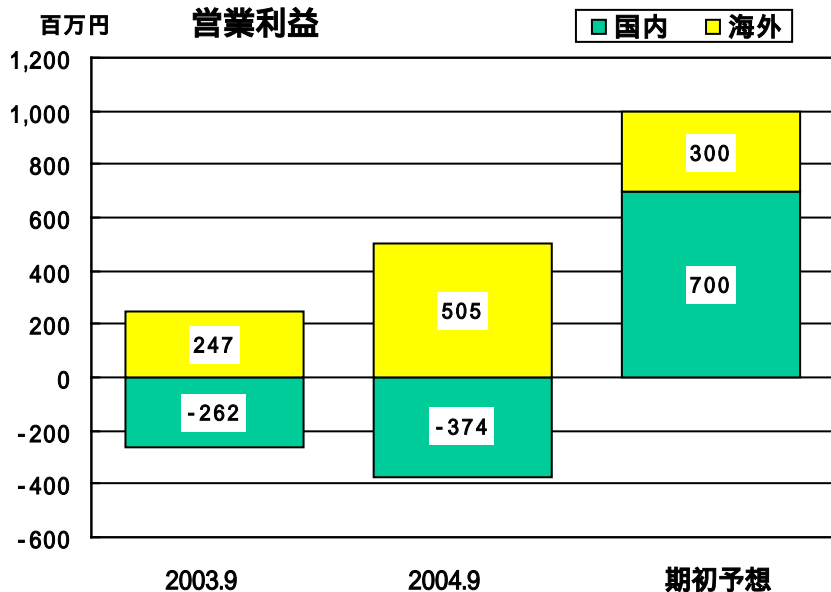
売上高



	2003年 9月期		2004年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	28,139	126	27,077	99
CHOYA	-	-	6,394	248
その他	13,391	136	14,457	27
国内計	41,530	262	47,928	374
ブラジル日清紡	1,978	181	1,887	273
ギステックス	1,674	64	1,777	97
ニカワテックス	1,942	130	1,995	139
P.T.ナイガイシャツ	-	-	96	4
海外計	5,594	247	5,755	505
消去	13,617	3	13,023	2
合計	33,507	12	40,660	133

百万円

営業利益



(売上高) 増収

CHOYA他新規連結分加算

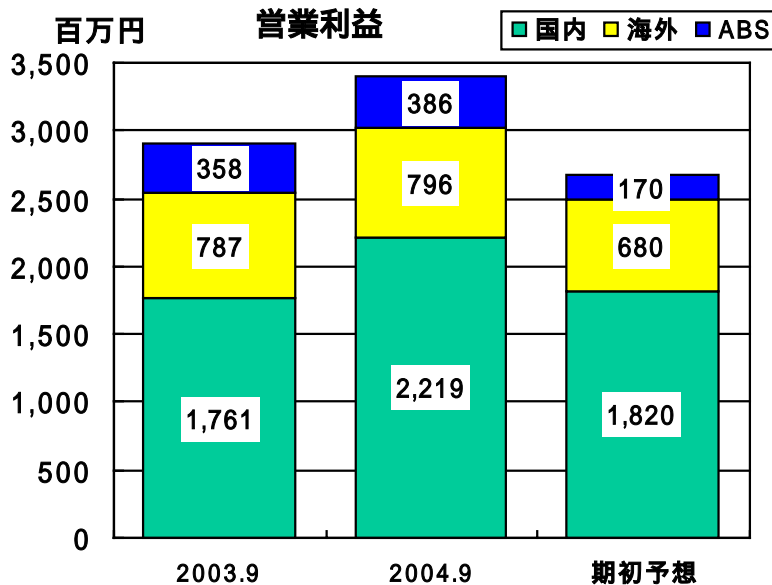
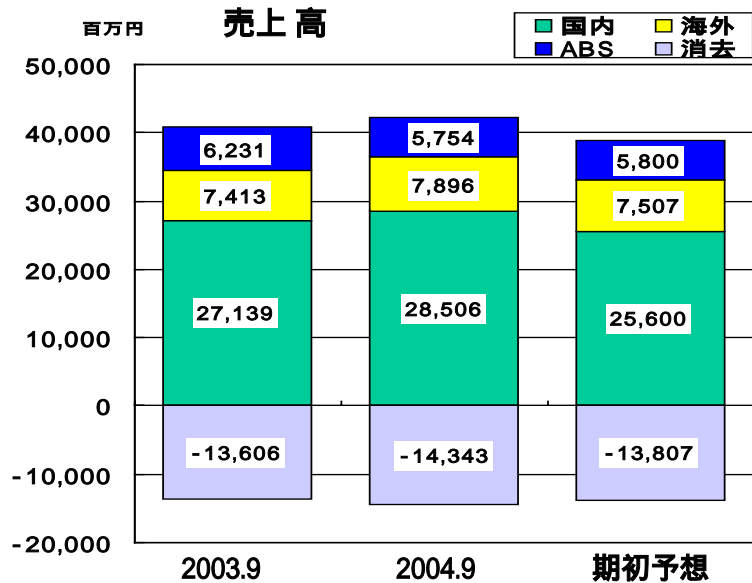
海外子会社増収

(営業利益) 黒字転換

国内は固定費削減等もCHOYA不振から減益

海外はギステックスの黒字転換をはじめ増益

ブレーキ事業



	2003年 9月期		2004年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	13,617	1,604	14,516	2,067
その他	13,522	157	13,990	152
ABS	6,231	358	5,754	386
国内計	33,370	2,119	34,260	2,605
オートモーティブ	2,832	4	2,871	19
ソンプーン	988	178	1,178	203
セロン	3,593	613	3,847	574
海外計	7,413	787	7,896	796
消去	13,606	42	14,343	58
合計	27,177	2,864	27,813	3,343

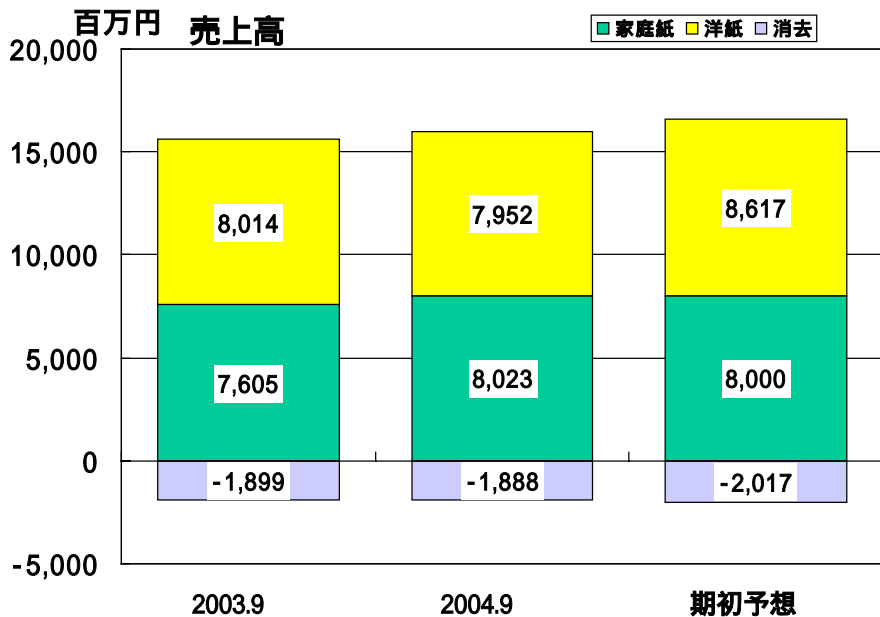
(売上高) 増収

ABS製品のコンティネンタル・テベスへの移管による減収を
国内・海外の新規受注増により吸収

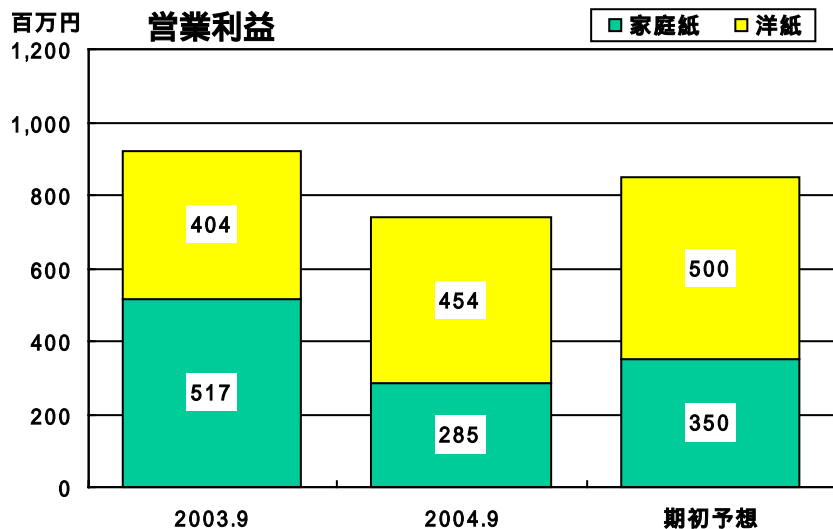
(営業利益) 増益

国内・海外の受注増

紙製品事業



	2003年 9月期		2004年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	5,445	438	5,876	285
その他	2,160	79	2,147	0
家庭紙計	7,605	517	8,023	285
日清紡	5,544	405	5,529	510
その他	2,470	1	2,423	56
洋紙計	8,014	404	7,952	454
消去	1,899	4	1,888	2
合計	13,720	925	14,087	737



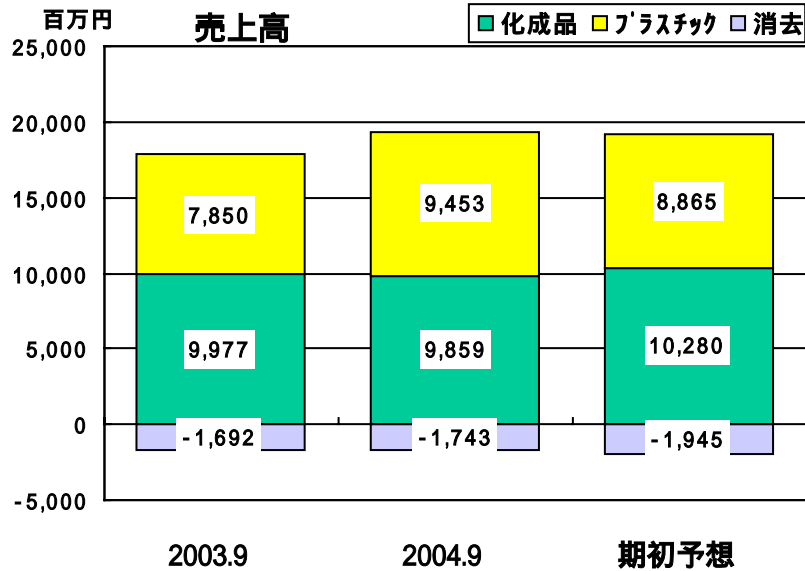
(売上高) 増収

新商品の拡販

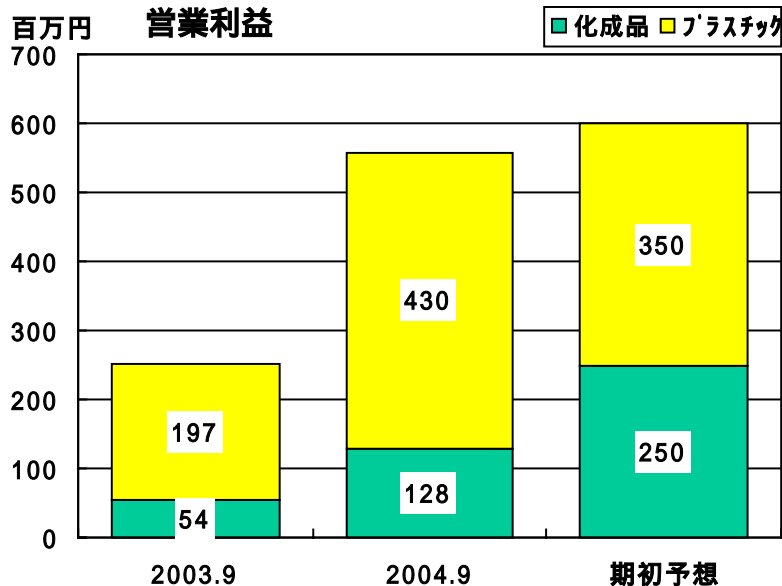
(営業利益) 減益

原料パルプ価格上昇・製品市況の悪化

化成品事業



	2003年 9月期		2004年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	5,040	7	4,892	79
その他	4,937	61	4,967	49
化成品計	9,977	54	9,859	128
日本高分子	4,265	173	5,183	30
タイ高分子	2,575	286	2,953	228
浦東高分子	1,010	84	1,317	172
プラスチック成型計	7,850	197	9,453	430
消去	1,692	51	1,743	4
合計	16,135	302	17,569	554



(売上高) 増収

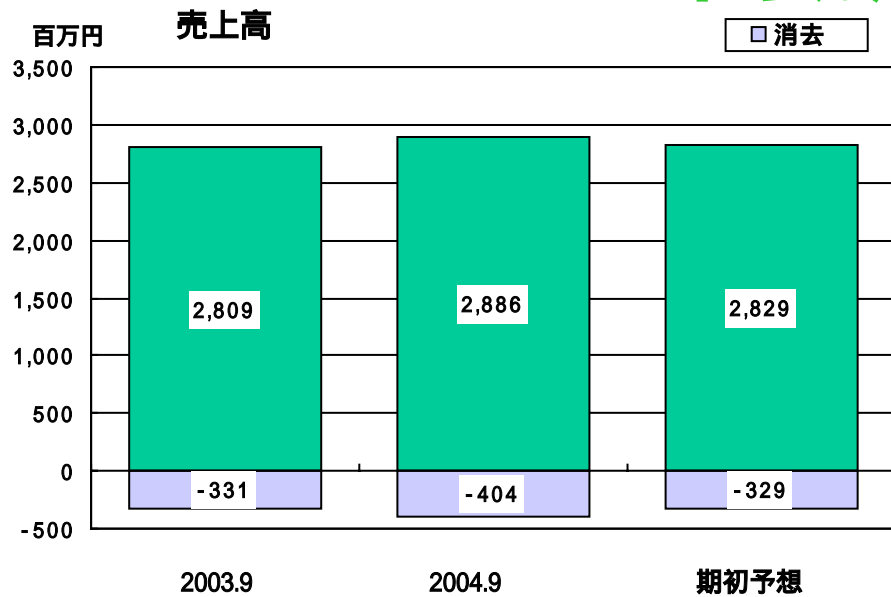
プラスチック成型加工品国内猛暑の影響

海外子会社受注増

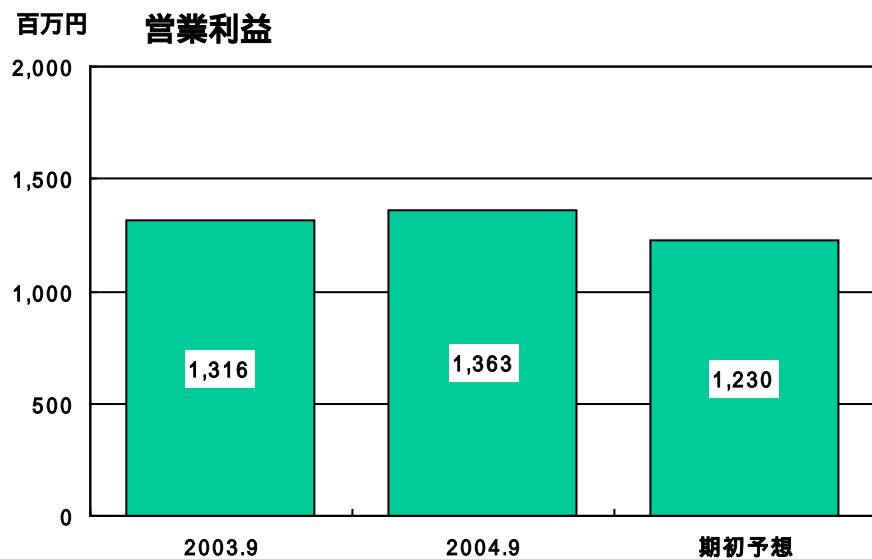
(営業利益) 増益

プラスチック成型加工品好調

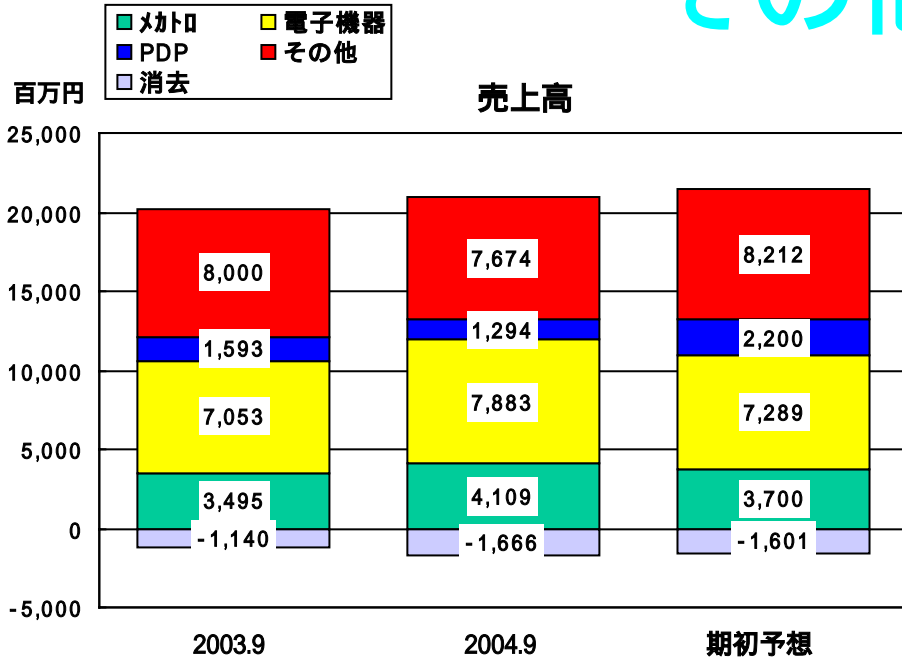
不動産事業



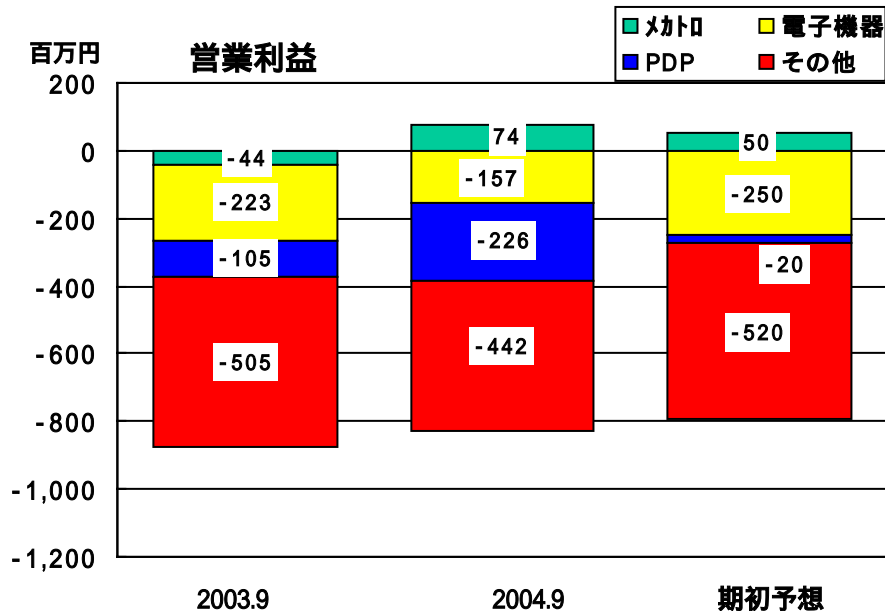
	2003年 9月期		2004年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	1,820	1,100	1,853	1,151
その他	989	217	1,033	213
計	2,809	1,317	2,886	1,364
消去	331	1	404	1
合計	2,478	1,316	2,482	1,363



その他事業



	2003年 9月期		2004年 9月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
メカトロニクス	3,495	44	4,109	74
電子機器	7,053	223	7,883	157
PDP	1,593	105	1,294	226
その他	8,000	505	7,674	442
計	20,141	877	20,960	751
消去	1,140	2	1,666	21
合計	19,001	875	19,294	772



(売上高) 増収

メカトロ: 自動車関連向け受注増

電子機器: 半導体需要増

PDPフィルター: 競争激化・価格下落

(営業利益) 赤字縮小

メカトロ: 売上増

電子機器: 人件費等削減

PDPフィルター: 価格下落

PDP用フィルター事業は平成17年3月を目途に撤退。

通期予想

百万円

	2005.3 予想	期初 予想	2004.3 実績	期初 差異
売上高	248,000	250,000	226,883	2,000
営業利益	10,000	11,000	8,496	1,000
経常利益	11,500	12,500	9,026	1,000
特別損益	1,500	1,400	2,245	100
税引前利益	13,000	13,900	6,781	900
法人税等	4,500	5,000	2,807	500
少数株主損益	(-)200	(-)700	(-)55	500
当期純利益	8,300	8,200	3,919	100

これまでの事業再構築に向けた諸施策が収益に結びつき、増収・増益と予想

(売上高)

ABSの営業移管による減収を、繊維事業の新規連結CHOYAの売上加算もあり増収

(営業利益)

事業再構築に向けた施策が収益へと転換

(経常利益)

持分法適用会社の増益

(特別損益)

厚生年金基金代行返上益の計上、減損損失計上

売上高

百万円

	2005.3 予想	期初 予想	2004.3 実績	期初 差異
繊維	83,300	88,400	68,403	5,100
ブレーキ	55,000	50,700	52,076	4,300
紙	30,200	29,800	29,010	400
化成品	34,500	33,900	32,098	600
不動産	5,000	5,100	4,941	100
その他	40,000	42,100	40,355	2,100
売上高計	248,000	250,000	226,883	2,000

営業利益

百万円

	2005.3 予想	期初 予想	2004.3 実績	期初 差異
繊維	1,000	2,400	725	1,400
ブレーキ	5,850	5,000	4,812	850
紙	1,900	2,000	2,024	100
化成品	1,000	1,000	612	-
不動産	2,600	2,500	2,614	100
その他	1,150	700	1,157	450
全社	1,200	1,200	1,134	-
営業利益計	10,000	11,000	8,496	1,000

経営3カ年計画2006

(2004.3 ~ 2006.3)

本年度スローガン

「収益力の一層の強化と売上の拡大」

基本事項

収益力を強化して、企業価値の増大を目指す。

重視事項

- ・事業計画: セグメント別事業計画を策定し、実施結果を確認する。
- ・業績評価: 業績評価基準により、每期セグメント別業績を評価。
- ・連結経営: グループ会社の経営力を強化。
- ・新規事業: 研究開発テーマの事業化を全社的に推進。

売上高

億円

	2004.3 計画	(実績)	2005.3 計画	(予想)	2006.3 計画
繊維	770	684	790	833	790
プレ-キ	515	521	515	550	520
紙	290	290	310	302	325
化成品	330	321	350	345	370
不動産	55	49	55	50	55
その他	410	404	430	400	440
計	2,370	2,269	2,450	2,480	2,500

営業利益

億円

	2004.3 計画	(実績)	2005.3 計画	(予想)	2006.3 計画
繊維	17	7	19	10	20
プレ-キ	42	48	53	58.5	58
紙	12	20	13	19	15
化成品	5	6	8	10	11
不動産	24	26	25	26	25
その他	10	11	8	11.5	4
全社	-	11	-	12	-
計	90	85	110	100	125

当社製品(1)



ノンケアの特長

- ・ 洗濯後も干すだけで美しい仕上がり
- ・ 綿100%の上質な風合い
- ・ 縫い目の細かいシワも気にならない仕上がり
- ・ 一日中着用しても型崩れしない



SSP



通常品

日清紡SSPは、夢の革新技术「液体アンモニア加工」によって、綿をはじめとするすべてのセルロース繊維の性質を根本的に変化させ、さらに、縫製の後にノーアイロンレベルの形態安定性を持たせるポストキュアの手法を採用することにより、高度の形態安定性を付与したノーアイロン製品です。



ブレーキライニング & アセンブリー

ドラムブレーキ用の摩擦材であるブレーキライニングは、軽自動車から大型トラック・バスまで幅広く採用されています。信頼できる制動力と、様々な条件下での性能安定性や耐久性を持ち、皆様の安全をサポートしています。



ディスクパッド & アセンブリー

ディスクブレーキに装着される摩擦材であるディスクパッドは、普通乗用車をはじめ、軽自動車、スポーツカー、トラックなどの大型車用まで幅広いラインナップをそろえています。優れた制動力と心地よい制動フィーリング、また様々な条件下での性能安定性や耐久性も実現しています。

当社製品(2)



アンチロック・ブレーキ・システム

ABSを装着することにより、雨天時や雪道、悪路などで急ブレーキをかけた場合でも、車輪のロックを防止し、スピンせずハンドル操作ができるため、安定した制動・停止をすることができます。



スタビリティコントロール(ESP)

スタビリティコントロール(ESP)は、すべりやすい路面で自動車のハンドルをきいても、安定した走りを得るために開発された最新のシステムです。



毎日のシャワートイレをもっと快適にするトイレティッシュ



家庭紙の豊富な商品バリエーション



コットンから生まれたやわらかティッシュ「コットンフィール」

自然の恵みの中で育ったピュアコットンをミックス。いままでにないやさしさとやわらかなフィーリングに仕上げました。赤ちゃんからご年配の方まで、安心してお使いいただけます。



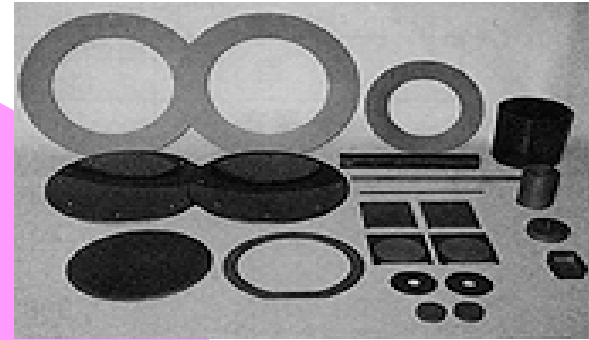
ファインペーパー

高級感のある上質な風合いと高度な印刷適性をそなえた高級印刷用紙です。書籍、ポスター・カタログ・カレンダー、ステーションナリーなどに使用されています

当社製品(3)



「エアライトフォーム」のブランドでおなじみの当社硬質ウレタンフォームは、お客様の要望に応じ、いろいろな形で販売しております。「エアライトフォーム」は、その優れた断熱性を生かし、冷凍船・冷凍コンテナ等のワールドチェーン関連、LNG、LPGの超低温プラント関連及び住宅設備、建築関連に使用されています。又、断熱材分野以外にも、土木分野、合成木材、スポーツ用品等、幅広い用途があります。



ガラス状カーボン

独自の技術で開発したガラス状(アモルファス)カーボンは、従来の炭素材料と異なり、気孔のない緻密な等方性組織が特徴です。



モビロンは、弊社独自の技術で開発した熱可塑性ポリウレタンエラストマー(TPU)です。テープやコード状など多様な形状に成形可能です。



クロス・フロー・ファン

プラスチックファン業界においてはNo.1シェアを誇っておりますが、その最大の要因は回転体技術にあります。空体力学を駆使して風量、風圧、騒音、回転数など、バランスのとれた性能を実現しております。

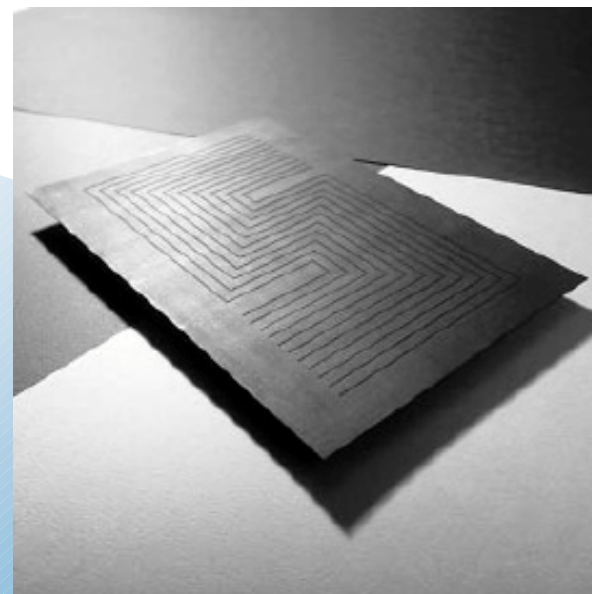
当社製品(4)

電気二重層キャパシター

高温から低温まで、幅広い温度条件に対応可能

日清紡・電気二重層キャパシターは、実装性に優れた角型構造を採用。

従来の円筒形のキャパシターに比べ、大幅な省スペース設計が可能になりました



燃料電池用セパレーター

水の電気分解とは逆に、水素と酸素を結合させて水をつくることで電気を起こす「燃料電池」。燃料電池の種類はいくつかありますが、燃料電池事業部では、固体高分子型燃料電池の心臓部にあたるカーボンセパレーターを開発し、量産を開始しています。

当社製品(5)

(電子機器)

(無線通信機器)



❖ 双方向無線モジュール

(電子応用機器)



❖ 自動通報装置 / 双方向デジタル伝送装置

(超音波関連機器)



❖ 超音波膜厚計 LU-200

(メカトロニクス)



ソーラーバッテリー製造設備
シミュレーター